

韓国大統領選挙の結果について

一般社団法人 関西経済同友会
代表幹事 鈴木博之

- 朴槿恵氏の罷免に伴う韓国大統領選挙の結果、革新系最大野党「共に民主党」の文在寅氏が勝利し、本日大統領に就任した。朴氏の失職以来、韓国では2ヵ月近く大統領不在という異例な事態が続いていたが、文新大統領には、混乱した同国の国政を早期に立て直すことを期待する。
- 北朝鮮による弾道ミサイルの発射実験や核兵器の開発に対応した米国の空母派遣や日米共同訓練の実施など、東アジアにおける緊張感は極めて高く、予断を許さない状況が続いている。今後、日本政府は、文新政権との信頼関係を構築し、北朝鮮の挑発的行為を如何に抑止していくか対話を進めていく必要がある。
- 戦略的利益を共有する重要な隣国である韓国とは、安全保障面のみならず、政治・経済を含めたさまざまな分野で、よりいっそう関係を深めていくことが大切であることは言うまでもない。
- ただし、2015年12月に日韓外相会談における慰安婦問題に関する日韓合意は、「最終」かつ「不可逆的」なものであり、文新政権にはこの合意の遵守を求めたい。

以上